

アリーナ・イブラギモヴァ

J.S. バッハ無伴奏ヴァイオリン
リサイタル

A L I N A
IBRAGIMOVA

J.S. Bach
Solo Violin Recital

J.S. バッハ：
無伴奏ヴァイオリン・パルティータ
第1番 ロ短調 BWV1002
第2番 ニ短調(シャコンヌ付) BWV1004
第3番 ホ長調 BWV1006

2011年11月15日(火) 19:00開演/18:30開場
HAKUJU HALL

全席指定：5,000円(税込)

■チケットのご予約

ユーラシック 03-3481-8788

チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/> (Pコード: 139-563)

e+(イープラス) eplus.jp

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

主催：ユーラシック 協力：東京エムプラス お問い合わせ：ユーラシック 03-3481-8788

所沢公演

2011年11月13日(日) 15:00開演/14:30開場
所沢市民文化センター ミューズ キューブホール
全席指定：3,000円(税込)
チケットのご予約・お問合せ：ミューズチケットカウンター TEL.04-2998-7777
主催：(財)所沢市文化振興事業団 / ユーラシック

*都合により曲目の一部が変更になる場合がございます。また、未就学児の入場はご遠慮下さい。あらかじめご了承下さい。

今、もつとも未来へ輝いているヴァイオリニスト、待望の来日！

メニューインの夢を体現するヴァイオリニスト、アリーナ・イブラギモヴァ渾身のバッハ

渡辺和彦

イギリスの若いヴァイオリニスト、アリーナ・イブラギモヴァが再来日する。あの神童・天才養成機関ともいべきメニューイン音楽学校経由、王立音楽院出身。ロシア生まれながら、1996年から家族とともにロンドンで暮らしている。わりあい近年に日本デビューしたイギリスのヴァイオリニストとしては、ニコラ・ベネディッティやクロエ・ハンスリップ、年齢がもう少し上の世代ではダニエル・ホープやタスミン・リドルなどがいる。いずれも「メニューイン」という共通項があるものの、イブラギモヴァの場合、「個性的」という点で、彼らから頭ひとつ抜けているかもしれない。経歴の中に「クリスチャン・テツラフに師事」の文字があることも重要。他の人と比べてテクニック面で抜群に安定しているのは、その成果だろう。時おりフェイントをかけたような魅力的な表情や音色を繰り出すこと、舞台姿に不思議なオーラがあることなども大きな特徴で、ロンドンでの抜群の人氣も頷ける。その彼女の実演が再び日本でも聴ける。従来の「イギリスのヴァイオリニスト」のイメージを打ち破ってくれるかもしれない。

Profile

ロシア生まれ。4歳でヴァイオリンを始める。1996年にイギリスに転居、1997年からメニューイン音楽学校で、その後ロンドン王立音楽院で研鑽を積む。

メニューインの伝記の中で、H.パートンはアリーナについて次のように記述している。「ユーティは何度もアリーナと共演した。…そして、アリーナがエネスコに捧げられたイザイのソナタを弾いたとき、メニューインが行ってきたヴァイオリン教育の非常に長い伝統の継続とメニューインの夢の強さを感じた」

いくつかの国際コンクールに入賞の後、2002年にソロ活動を開始、この年ロンドン交響楽団音楽奨学金『シェル賞』を受賞。これまでに、ナターシャ・ボヤルスキ、ゴールデン・ニコリッチ、クリスチャン・テツラフ、エイドリアン・バスターフィールドに師事。

2007年ウィグモアホールにデビュー、またフランシス・グザヴィエ・ロート指揮ロンドン交響楽団の共演でBBCプロムスにデビュー。これまでにフレリー・ゲルギエフ指揮マリンスキー劇場管弦楽団、ジョン・エリオット・ガーディナー指揮フィニーチェ歌劇場管弦楽団、パーヴォ・ヤルヴィ指揮ドイツカンマー・フィル・プレーメン、サー・チャールズ・マッケラス指揮フィルハーモニア管、ジャンアンドレ・ノセダ指揮BBCフィルハーモニー、エドワード・ガードナー指揮BBC響、オスモ・ヴァンスカ指揮BBCスコティッシュ響、ヤニック・ネゼ＝セガン指揮フランクフルト響、第25回ロッケンハウス音楽祭、及びザルツブルク音楽祭等で頻繁にギドン・クレーメルと共演。また、2010年BBCプロムスでは、エドワード・ガードナー指揮BBC響とヒュー・ワトキンスのヴァイオリン協奏曲を世界初演して話題になる。また、NHK「クラシック倶楽部」にも出演。

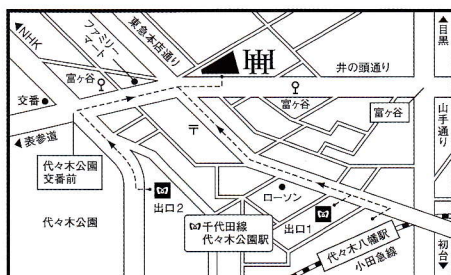
2008年ボルレッティ＝ブイトーニ・アワード受賞。2011年ロイヤル・フィルハーモニー協会のヤング・アーティスト・アワード受賞。
ゲオルグ・フォン・オベルから貸与されたピエトロ・ガッレリ製作(1783年)の楽器を使用。



© Sussie Ahlburg

アリーナ・イブラギモヴァ2011

- 11月13日(日) 埼 玉・所沢市民文化センター・ミュージック キューブホール
[問] ミュースチケットカウンター Tel.04-2998-7777
- 11月15日(火) 東 京・Hakuju Hall
[問] ユーラック Tel.03-3481-8788
- 11月18日(金) 名古屋・愛知県芸術劇場 コンサートホール
[問] 名フィル・チケットガイド Tel.052-339-5666
- 11月19日(土) 名古屋・愛知県芸術劇場 コンサートホール
[問] 名フィル・チケットガイド Tel.052-339-5666
- 11月21日(月) 名古屋・宗次ホール
[問] 宗次ホールチケットセンター Tel.052-265-1718



HAKUJU HALL

〒151-0063 東京都渋谷区幡ヶ谷1-37-5

[最寄り駅]
千代田線代々木公園駅出口1 徒歩5分
小田急線代々木八幡駅 徒歩5分

[バス]
「幡ヶ谷」バス停下車 徒歩1分
渋谷駅南口下車 西口バスターミナルより10分
*渋谷1(初台行)渋谷63(中野行)渋谷64(中野行)
渋谷66(阿佐ヶ谷行)渋谷67(笹塚循環)

公演曲目収録



華麗なるロシアの妖精 アリーナ・イブラギモヴァ

hyperion

J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ & パルティータ(全曲)
アリーナ・イブラギモヴァ(ヴァイオリン)
CDA 67691/2(2CDs)

永遠のバイブル、バッハの無伴奏。
祖国ロシアの大地のように雄大でありながらも繊細さを持ち合わせたイブラギモヴァのバッハ。
1738年ピエトロ・ガッレリ製のヴァイオリンを手にしたロシアの妖精が奏でる純真無垢の演奏が、聴き手の魂を揺さぶります。



シマノフスキ:ヴァイオリンとピアノのための作品全集
アリーナ・イブラギモヴァ(ヴァイオリン)
セドリク・ティベルギアン(ピアノ)
CDA 67547



ロースラヴェツ:
ヴァイオリン協奏曲第1番 & 第2番(世界初録音)
イラン・ヴォルコフ(指揮)
BBCスコティッシュ交響楽団
CDA 67637



輸入・発売:株式会社 東京エムプラス <http://www.tokyo-m-plus.co.jp/> 〒112-0011 東京都文京区千石4-14-10 三好ビル TEL 03-5976-5991